

第17回全国障害者スポーツ大会個人競技出場選手募集要綱

1. 趣 旨 第17回全国障害者スポーツ大会福岡市選手団編成にあたり、個人競技出場選手を募集するもの。
2. 派遣元 福岡市
3. 大会名 第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」
4. 開催期日 平成29年10月28日（土）～30日（月）
5. 派遣日程 平成29年10月26日（木）～31日（火）5泊6日
6. 開催場所 愛媛県（松山市、今治市、松前市、西条市ほか）
7. 募集種目 陸上・水泳・卓球（STTを含む）・フライングディスク
アーチェリー（身体のみ）・ボウリング（知的のみ）
8. 募集人数 26名
9. 参加資格
 - 1) 平成29年4月1日現在で、13歳以上の身体障がい者並びに知的障がい者
 - ①身体障がい者は、身体障害者手帳の交付を受けた者
ただし、内部障がい者は、膀胱直腸機能障がい者のみ
 - ②知的障がい者は、療育手帳の交付を受けた者、あるいはその取得の対象に準ずる障がいのある者
 - 2) 福岡市内に現住所（住民票のある地）を有すること。ただし、福岡市外に現住所を有する者は、福岡市内の施設や学校等に入所及び通所、並びに通学していること
 - 3) 平成28年度福岡市障がい者スポーツ大会下記大会等に出場していること
障がい者陸上競技大会・障がい者水泳記録会・障がい者卓球まつり
福岡都市圏障がい者ボウリング大会・障がい者フライングディスク大会
博多っ子杯インドア・アーチェリー大会など
※従来の全国大会への出場回数2回の制限は廃止する
10. 申込方法
 - 1) 施設、特別支援学校・学級、手をつなぐ育成会等に所属する者は、各該当団体を通して下記宛に郵送または持参にて申し込むこと
《様式A（推薦書）・健康調査票》
 - 2) 上記以外の者は、所定の申込用紙（ホームページからダウンロード可）に必要事項を記入の上、下記宛に郵送または持参にて申し込むこと
《様式B（申込書）・健康調査票》
 - 3) 日程が5泊6日と長期にわたるので、職場の休暇等を確認の上申し込むこと
11. 申込期間 平成29年4月11日（火）～5月2日（火）
※書類選考の後、6月上旬に決定通知を送付予定
（推薦書：推薦した所属長宛・申込書：申込者本人宛）
12. 申込み 福岡市障がい者スポーツ協会（平日9時～17時半まで）
問合せ先 〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市市民福祉プラザ3階
TEL 781-0561 FAX 781-0565
URL <http://www.suporeku-fuku.com/>

全国障害者スポーツ大会個人競技福岡市選考基準

平成27年3月31日改正

I. 目的

本基準は、「全国障害者スポーツ大会」の個人競技について、福岡市からの選手派遣を選考する際に用いるものである。

II. 選考基準

1. 出場選手は、原則として強化指定選手の中から選考する。
2. 前年度に実施された、福岡市障がい者スポーツ大会等に出場した者の中から成績を考慮して選考する。
3. 全国障害者スポーツ大会・全国身体障害者スポーツ大会・ゆうあいピック大会未経験者の出場にも配慮し選考する。
4. 再出場者は、過去の全国大会への出場経験又は、選手団全体の障がい種別、性別、年齢等のバランス等を考慮して選考する。
5. 連続出場は、その年の競技団体が主催した全国大会等において好成績（大会記録以上、又はそれに近い記録）を残した者について考慮する。
6. 団体、クラブ等で熱心に活動に取り組み、将来的にリーダーとして障がい者スポーツの振興に寄与する者。
7. 年間を通じてスポーツを継続的に行い、各種大会に積極的に出場している者。

III. 出場資格（全国障害者スポーツ大会要綱より）

1. 毎年4月1日現在、13歳以上の身体障がい者並びに知的障がい者。
身体障がい者 / 身体障害者手帳の交付を受けた者。
(含内部障がい：ぼうこう直腸機能障がいのみ)
知的障がい者 / 療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障がいのある者。
2. 福岡市内に現住所（住民票のある地）を有する者。ただし、福岡市外に現住所を有する者は、福岡市内の施設や学校等に入所及び通所並びに通学していること。
3. 団体競技に出場する選手は、個人競技には出場できない。

IV. 選手選考方法

推薦や公募等で選考対象となった者の中から、上記(II.)および(III.)の条件を満たした者を選考委員会で審議し決定する。

V. 強化指定選手育成制度

次年度以降の大会出場選手を育成するために、強化指定選手育成制度を設ける。
強化指定選手については、選考委員会にて選出する。強化指定選手に選ばれた者は福岡市選手団の強化練習会や協会指定の教室等に参加し競技力向上を図る。

VI. 選手団派遣介護役員（監督・コーチ）選考基準

- ①役員構成は、出場選手の障がいの程度および選手の構成を考慮して選出する。
- ②障がい者スポーツ等の関係者や、(公財)福岡市スポーツ協会の競技団体等の指導者からも選出を行い、障がい者スポーツの理解者を増やしていく。

VII. 予選会として実施される福岡市障がい者スポーツ大会等

- ①福岡市障がい者スポーツ大会（陸上競技大会・フライングディスク大会）
- ②障がい者水泳記録会
- ③障がい者卓球まつり（一般卓球・サウンドテーブルテニス）
- ④博多っ子杯インドア・アーチェリー大会
- ⑤福岡都市圏障がい者ボウリング大会

<別表1>第17回全国障害者スポーツ大会競技・種目

1. 陸上競技

◎男女別・年齢区分別 △男女混合・年齢区分なし ▲男女別・年齢区分なし

障害区分	区分番号	障がい区分	競走						跳躍			投てき							
			50m	100m	200m	400m	800m	1500m	スラローム	4×100mリレー	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ピンバッグ投		
			※2							※1									
肢体不自由	1	1 上部	1 手部切断 片前腕切断または、片上肢不完全 片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎					◎			◎	◎	◎	◎	◎		
			2 両前腕切断または、片前腕および片上腕切断 両上肢不完全	◎	◎				◎		▲	◎	◎						
			3 両上腕切断または、両上肢完全	◎	◎						▲	◎	◎						
	2	2 下部	4 片下腿切断または、片下肢不完全	◎	◎								◎	◎	◎	◎	◎		
			5 片大腿切断または、片下肢完全	◎	◎								◎	◎	◎	◎	◎		
			6 両下腿切断	◎	◎								◎		◎	◎	◎		
			7 片下腿および片大腿切断 両下肢不完全	◎									◎		◎	◎	◎		
			8 両大腿切断または、両下肢完全												◎	◎	◎		
	3	3 体幹	9 体幹 ※3	◎	◎								◎	◎	◎	◎	◎		
			10 第6頸髄まで残存	◎	◎					◎									◎
	4	4 脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	11 第7頸髄まで残存							◎									◎
			12 第8頸髄まで残存		◎	◎		◎	◎	◎						◎	◎	◎	
			13 下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎		◎		◎						◎	◎	◎	
			14 下肢麻痺で座位バランスあり						◎	◎						◎	◎	◎	
			15 その他の車いす		◎	◎		◎		◎						◎	◎	◎	
16 四肢麻痺で車いす使用			◎						◎										◎
5	5 脳原性麻痺（脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等）	17 けて移動	◎						◎									◎	
		18 片上下肢で車いす使用	◎						◎						◎	◎			
		19 上肢で車いす使用	◎	◎	◎		◎	◎	◎						◎	◎	◎		
		20 その他走不能													◎	◎	◎		
		21 上肢に不随意運動を伴う走可能	◎	◎	◎				◎				◎	◎	◎	◎	◎		
		22 その他走可能	◎	◎	◎				◎				◎	◎	◎	◎	◎		
6	6 視覚障がい	23 電動車いす常用							◎									◎	
		24 視力0から光覚弁まで	◎	◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎	◎	◎		
		25 視力手動弁から0.03までまたは、視野5度以内	◎	◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎	◎	◎		
7	7 聴覚障がい	26 その他の視覚障がい	◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎	◎			
		27 聴覚障がい	◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎	◎			
8	8 知的障がい	28 知的障がい	◎	◎	◎	◎	◎	◎		△	▲	◎	◎		◎	◎			
		29 ぼうこう又は直腸機能障がい	◎						◎				◎	◎		◎	◎		

※1 4×100mリレーは男女混合とする。

※2 50m競走で使用する車いすは日常生活用とする。

※3 体幹とは頸部・胸部・腹部及び腰部（脊柱）のみに変形がある者（脊椎カリエス等による体幹の障がい）が該当する。ただし、四肢の機能障害を伴う場合は体幹の機能障がいであってもこの区分には該当しない。

※4 複数の障害区分にわたり1つの◎がついている場合は、一つの区分として競技をおこない、順位を決定する。

【注】競争競技は50mと100m、跳躍競技は立幅跳と走幅跳、投てき競技は障がい区分8を除き、ソフトボール投とジャベリックスローの両方に申し込むことはできない。

2. 水泳

◎男女別・年齢区分別 ○男女別・1部 ●男女別・2部 △男女混合・年齢区分なし

			自由形		背泳ぎ		平泳ぎ		バタフライ		4 × 5 0 m リ レー ※	メ ド レ ー リ レー 4 × 5 0 m ※			
			2 5 m	5 0 m	2 5 m	5 0 m	2 5 m	5 0 m	2 5 m	5 0 m					
			区分 番号	障がい区分											
肢体 不自由	1	上肢	1	手部切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			2	片前腕切断または、片上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			3	片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			4	両前腕切断または、両上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			5	両上腕切断または、両上肢完全 片前腕および片上腕切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
	2	下肢	6	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			7	片大腿切断または、片下肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			8	両下腿切断または、両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			9	両大腿切断または、両下肢完全 片下腿および片大腿切断	◎	◎	●	○	●	○	◎				
	3	上下肢	10	片上肢切断および片下肢切断 片上肢不完全および片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎				
			11	多肢切断または、片上肢完全および片下肢完全 両上肢不完全および両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎				
	4	体幹	12	体幹	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
2			脳原性麻痺 以外で 車いす常用	13	第7頸髄まで残存	◎	◎	◎		◎					
				14	第8頸髄まで残存	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
				15	下肢麻痺で座位バランスなし	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		16		下肢麻痺で座位バランスあり	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
3		脳原性麻痺	17	四肢麻痺（車いす常用） 上に著しい不随意運動を伴う走不能	◎	◎	◎		◎						
			18	両下肢麻痺 上に軽度の不随意運動を伴う走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			19	片側障がい片上肢機能全廃	◎	◎	●	○	●	○	◎				
	20		その他の片側障がい走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○				
	21		その他	◎	◎	●	○	●	○	●	○				
視覚障がい		23	視力0から光覚弁まで	◎	◎	●	○	●	○	●	○				
		24	視力手動弁から0.03まで 視野5度以内	◎	◎	●	○	●	○	●	○				
		25	その他の視覚障がい	◎	◎	●	○	●	○	●	○				
知的障がい		26	聴覚障がい	◎	◎	●	○	●	○	●	○				
		27	知的障がい	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△		

※ リレー、メドレーリレーは男女混合とする。

※ 障がい区分8, 9, 11, 13, 14, 15, 17, 18, 19, 22のスタートは水中スタートをしなくてはならない。

3. アーチェリー

◎男女別、年齢区分別 ●男女別

	区分番号	障がい区分	リカーブ		コンパウンド	
			50m・30m	30m・30m	50m・30m	30m・30m
肢体不自由	脳原性麻痺以外で車いす常用	1 第8頸髄まで残存	◎	◎	●	●
		2 その他の車いす	◎	◎		
	切断・機能障がい	3 上肢障がい	◎	◎		
		4 下肢障がい (いす、車いす使用を含む)	◎	◎		
		5 体幹	◎	◎	●	●
	6 脳原性麻痺(脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	◎	◎			
聴覚・平衡機能障がい、 音声・言語・そしゃく機能障がい	7 聴覚障がい	◎	◎			
内部障がい	8 ぼうこう又は直腸機能障がい	◎	◎			

※「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

4. 卓球

◎男女別、年齢区分別

	区分番号	障がい区分	卓球	S T T	
肢体不自由	1	1 片上肢障がい	◎		
		2 両上肢障がい	◎		
		3 片下肢障がい	3 片下腿切断または、片下肢不完全	◎	
			4 片大腿切断または、両下腿切断 片下肢完全または、両下肢不完全	◎	
			5 片下腿および片大腿切断 両大腿切断または、両下肢完全	◎	
	6 体幹	◎			
	2	7 第8頸髄まで残存	◎		
		8 座位バランスなし	◎		
		9 その他の車いす	◎		
	3	10 車いす使用	◎		
		11 杖または、松葉杖使用	◎		
		12 上肢に不随意運動あり	◎		
		13 上肢に不随意運動なし	◎		
		14 片側障がい	◎		
視覚障がい	15 視力0から0.03までまたは、視野5度以内		◎		
	16 その他の視覚障がい	◎			
聴覚・平衡機能障がい、 音声・言語機能障がい・そしゃく機能障がい	17 聴覚障がい	◎			
知的障がい	18 知的障がい	◎			

※「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

5. フライングディスク

◎区分なし ●男女別

	アキュラシー		ディスタンス	
	ディスリート5	ディスリート7	座位	立位
肢体不自由				
視覚障がい				
聴覚障がい	◎	◎	●	●
知的障がい				
内部障がい(ぼうこう又は直腸機能障がい)				

6. ボウリング

知的障がい者で男女別、年齢区分別に実施する。